

令和2年11月の園だより



【みみょうフェスティバルを終えて】

公園の木々も少しずつ色づき始め、秋が深まってきました。朝夕は冷えますが、日中は陽ざしが気持ちよく過ごしやすい時期です。引き続き公園に出かけ、探索しながら木の実や小枝、落ち葉を見つけたり、広い場所でしっかりと身体を動かして遊んでいきたいと思います。

先月のみみょうフェスティバルには、多くの皆さんにご参加いただきましてありがとうございました。今年は、コロナウィルス感染防止のため、保護者の皆さんには、検温、人数や時間の制限などいろいろとご協力をいただき無事に終えることができました。また、自園で開催ということで、職員からは、保護者の方とお子さんの様子などゆっくりと話すことができたという報告を受けました。子どもたちは、大好きなお父さんお母さんと一緒に、とても嬉しそうでしたね。中には終わりの時間になっても「まだ遊びたい」という子どももいました。また、保護者の皆さんからも「楽しかった」という声が多く聞かれ、日頃は忙しくて、一緒に遊ぶ時間がなかなかとれないのではないかと思います。が、お子さんとゆっくりと向き合っ、一緒に遊ぶひとときになったのではないかと思います。

ライティングテーブルの上で、絵の具を垂らしてにじみ絵を楽しむコーナーを覗くと、意外にもこあら組さんの親子が集まって遊んでいました。絵の具を垂らし広がっていく様子をお父さんお母さんと一緒に「何かな？」と目を輝かせて見ている子どもの姿があり、まさに、お父さんお母さんの楽しいが、子どもたちの楽しいにつながっているということを感じた場面でした。乳児期に大好きな人と一緒に、不思議さ

や面白さなど、様々なことに気づいたり感じたりして楽しさを共にすることが、いろいろなことへの興味関心や「やってみたい」「やってみよう」という、子どものやる気を高めます。そして幼児期では、このやる気を土台に、もっと知りたいと考えたり、周りの人と関わりながら最後までやりぬくなどの力を育ていき、更に小学校からの楽しく学ぶ力（学習意欲）につながっていきます。

今年は、コロナウィルスの影響でみみょうフェスティバルが、初めての大きな行事となりました。今回の行事を通して、保護者の方には、いつも園で子どもたちが、素材や自然物で楽しんでいるあそびを親子で体験してもらい、1時間という短い時間ではありましたが、日頃の保育を少しですが知ってもらえる機会になったのではないかと思います。子どもたちは、あそびの中でたくさんのお話を学んでいます。これからも、ドキュメンテーションなどを通して、保護者の皆さんに、園での様子やあそびの中にどんな学びや育ちがあるのか、そして今の子どもたちの学びが、小学校以降の育ちにどのようにつながっていくのかなど、もっともっとお伝えして、一緒にお子さんの成長を楽しみながら支えていけたらと思います。

これから冬に向けて、コロナウィルスとインフルエンザの同時流行が心配されます。今は感染が少し落ち着いておりますが、引き続き緊張感をもって感染予防対策をしっかりとしたいです。ご家庭でも、お子さんだけでなく、保護者の方も体調の変化に十分に気をつけていただき、何かありましたら、すみやかにお知らせください。

園長

